

松江市 報道機関配布資料

令和8年2月2日

件名

松江城周辺の駐車場ガイドマップ改訂について

内容

NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」の放送開始により増加している観光客の受入態勢強化の一環として、松江城周辺駐車場マップの改訂を行いました。大手前駐車場から空きのある周辺駐車場への分散・誘導による混雑緩和を図ります。また、駐車場マップ裏面には、小泉セツと八雲ゆかりの地MAPを掲載しており、観光客の周遊促進にも繋げてまいります。

松江観光協会 HP に駐車場情報を掲載しています



また、松江城周辺にあるタイムズ一畑殿町駐車場（運営：一畑電気鉄道株式会社）は、1月19日（月）から駐車場名を「タイムズ国宝松江城前駐車場」へと変更されています。松江城周辺を訪れる観光客が駐車場を検索する際に、国宝松江城の名前が入ったことで検索しやすくなり、利用促進が図られることで、大手前駐車場からの分散化による混雑緩和を期待しています。

【問い合わせ】

観光部 観光振興課 担当：河原 電話：0852-55-5214



小泉八雲とセツが出会ったまち 松江

あげ、そげ、ばけ。 駐車場ガイドマップ

駐車場情報はこちら▶

松江観光協会公式 HP

松江の便利情報、駐車・駐輪場案内



満空情報はこちら▶

松江城大手前駐車場

城山西駐車場など

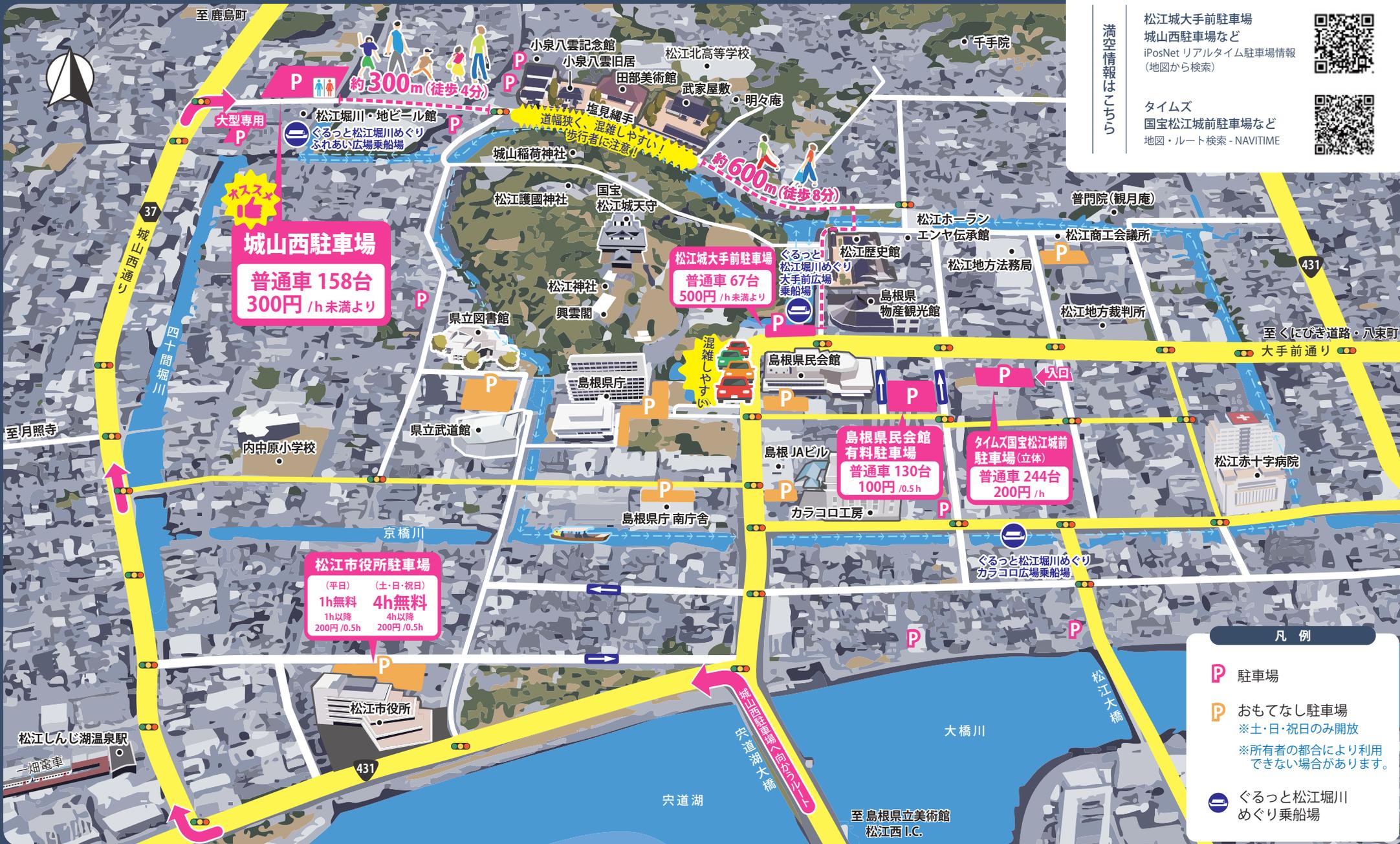
iPosNet リアルタイム駐車場情報
(地図から検索)



タイムズ

国宝松江城前駐車場など

地図・ルート検索 - NAVITIME



城山西駐車場
普通車 158台
300円 / h未滿より

松江城大手前駐車場
普通車 67台
500円 / h未滿より

**島根県民会館
有料駐車場**
普通車 130台
100円 / 0.5h

**タイムズ国宝松江城前
駐車場(立体)**
普通車 244台
200円 / h

松江市役所駐車場
(平日) (土・日・祝日)
1h無料 4h無料
1h以降 4h以降
200円 / 0.5h 200円 / 0.5h

凡例

- P** 駐車場
- P** おもてなし駐車場
※土・日・祝日のみ開放
※所有者の都合により利用
できない場合があります。
- ぐるっと松江堀川めぐり乗船場

※料金や内容が変更になっている場合がありますので、あらかじめご了承ください。

01 小泉八雲記念館

八雲の直筆原稿や初版本、愛用の机や妻セツの品などを展示し、八雲の生涯や功績を紹介している。



(施設HP)

02 小泉八雲旧居

八雲とセツが暮らした武家屋敷で、松江で暮らした最後の5か月間をここで過ごした。八雲が愛し、作品にも著わしている庭は当時のまま保存されている。



(施設HP)

03 武家屋敷

小泉セツの実母小泉チエの実家である塩見家がかつて居住していた屋敷。屋敷の内部では当主の部屋、奥方の部屋、台所、刀筆箱(かたなだんす)、奥方の化粧道具、台所道具や子どもの玩具など、武家の建築や家具を見学できる。



(施設HP)

04 城山稲荷神社

松江藩主松平家初代の松平直政が勧請した神社。八雲は境内を囲む石の狐を大変好み、よく訪れていた。当時、八雲は耳の欠けた大きな石狐を気に入ったと言われている。

05 普門院

松江開府の祖である堀尾吉晴が松江城鎮護の祈願所として開山した寺院。近くの橋は怪談「小豆とぎ橋」の舞台となった。小豆とぎ橋で謡曲「杜若」を謡うと恐ろしいことが起こるといふ伝説があり、八雲も著書の中で紹介している。



(施設HP)

06 松江歴史館

江戸時代を中心とした松江の歴史・文化を紹介する博物館。八雲作品や八雲が愛した松江の風景も紹介。



(施設HP)

07 カラコロ工房

旧日本銀行松江支店を増改築した食・文化・アートを楽しむことができる施設。



(施設HP)

小泉セツと八雲ゆかりの地MAP



443(しじみ)

数字に秘められた小泉八雲とセツの絆

小泉八雲、セツ夫妻にまつわる物語や、ゆかりのスポットを紹介するサイト

ラフチャリ。

松江シニアサイクル

24時間いつでも乗れて、好きなポートに返却OK!

松江シェアサイクル

…主要バス停

…八雲ゆかりの顔はめパネル設置場所

…ラフチャリ。

…堀川遊覧船乗船場

08 島根県尋常中学校跡地

八雲が英語教師として教鞭をとった島根県尋常中学校があった場所。現在は島根県警本部庁舎。八雲は生徒や周囲の人々から「ヘルン先生」と呼ばれ親しまれていた。

09 月照寺

松江藩主松平家の菩提寺。境内にある大亀の石像は六代藩主の寿蔵碑(生前供養塔)で、八雲はこの大亀について、夜な夜な隣の蓮池に飛び込むという伝説を紹介している。



(施設HP)

10 大雄寺

八雲の怪談「鉛を買う女」の舞台。母親が赤ん坊のために幽霊となって鉛を買いに来るといふ物語で、八雲は「母の愛は死よりも強し」と話の終わりを結んでいる。

11 (有)橋泉堂山口卯兵衛商店

安永元年(1772)の開業と伝える商家で、現在の建物は明治時代中期に建てられたもの。八雲がいた当時、松江でビールを扱っていた唯一の店で、八雲は和菓子をつまみにビールを飲むことを楽しみにしていたという。(インスタ)



12 富田旅館跡

八雲が松江に到着して最初に宿泊した宿。八雲はこの宿での最初の朝、松江大橋を渡る下駄の音や水面に映る霞んだ風景などの松江の第一日目の印象を『知られぬ日本の面影』に記している。

13 源助公園／源助柱記念碑

松江大橋をかける時、難工事のために源助という男を人柱にした伝説を、八雲は『知られぬ日本の面影』で紹介している。石碑は昭和14年(1939)に源助を供養するために建立された。

14 島根県立美術館

宍道湖畔に建つ山陰最大級の美術館。世界有数の葛飾北斎作品の所蔵数を誇る。



(施設HP)